

碑文（福建會館、一七五七年）

念光彩不忘慈心化一南船扶救光彩衆安金身飄

中困苦年餘

娘娘焉得何罪受此之厄無他爲弟子求財故也午時

請從水中扶抱金身登山到占城錦安之地就此重

建六十餘年因茅廟不能長久于茲年三月間遺衆

興瓦廟靈慈揚名濟世非圖財求利而至此也陳此

福建泉州府晉江縣沐恩弟子施澤宏敬立

乾隆丁丑年端月穀旦

註

- 1 下部真中の縦画をはねる。
- 2 旁の最上部の横線がない。
- 3 「古」の縦画が垂直でなく、左に傾いて末端が「口」の左上に付いている。
- 4 右下部分を「巳」に置き換えた字体。
- 5 「古」の縦画が垂直でなく、左に傾いて末端が「口」の左上に付いている。
- 6 旁を「ノ」に置き換えた字体。
- 7 異体字。
- 8 異体字。
- 9 異体字。
- 10 「果」の左縦画を欠く字体。
- 11 異体字。